



平成28年9月30日

各 位

上場会社名 内外トランスライン株式会社
 代表者 代表取締役社長 常多 晃
 (コード番号 9384)
 問合せ先責任者 取締役経営企画部長 三根 英樹
 (TEL 06-6260-4800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ平成28年2月10日に公表した平成28年12月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,800	1,660	1,680	1,110	114.47
今回修正予想(B)	20,600	1,200	1,120	800	82.50
増減額(B-A)	△3,200	△460	△560	△310	
増減率(%)	△13.4	△27.7	△33.3	△27.9	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	22,657	1,578	1,568	1,005	94.72

修正の理由

当社グループの平成28年12月期業績につきましては、中国、アジアをはじめ、世界的な景気低迷が続く中、為替も円高が定着し、我が国の貿易は長期伸び悩み状態となっておりますが、当社主力商品の輸出混載貨物輸送に関しては、取扱数量は微減に留まっており比較的堅調に推移しております。

売上高については、世界的なコンテナ運賃の市況低迷に伴う売上単価の下落や、年初想定為替レートに対し11%超の円高水準で推移する為替の影響等により、前回発表予想より13.4%の減収となる見込みであります。

一方、営業利益におきましては、仕入運賃の低下が増益要因となったものの、売上高の減少をカバーするまでには至らず前回予想営業利益を下回り、また、為替差損の計上等により経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益も同様に減益となる見込みになりました。

当社グループは中期経営計画に掲げる経営方針に従い業績回復の努力を続けてまいりますが、事業環境は為替を中心として引き続き厳しさを増すことが予想され、上記の理由により、通期連結業績予想を修正することといたしました。

なお、期末配当予想につきましては、平成28年2月10日に公表しました15.00円(中間配当と合わせ年間30.00円)から変更はありません。

(注)上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上